（様式－3）

再　発　防　止　対　策　書

関東支部

発　生　日　時	令和7年3月10日（月曜日）15時55分							天　候	晴れ	
災害の程度	死亡　　名		負傷　1名		職種　架線作業員		年令61 才		経験年数36年11ケ月	
工事の種類	調査測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転　倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感　電	その他		
原　　因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設　　備	電圧275kV	1 回線	電線ACSR610㎜^{2}　単導体	地線EAS90㎜^{2}　1条						
件　　名	ジブクレーンにてモノレールへの資機材積込中，操作ミスにより吊荷が振れたことによる転落負傷									

災害の状況

・リールに巻いてある12㎜クロスロープ（重量390kg）をモノレール荷台上にて位置調整中
クレーン操作者がジブクレーンの起伏操作と旋回操作を間違って操作してしまい（旋回）
吊り荷が振れて介錯を行っていた作業員に当たり転落負傷した。

【被災程度】　左鎖骨遠位端骨折（全治約2週間）

【装備】　　安全帽，作業着（上下），防寒着（上下），皮手袋，安全靴

原因及び対策

1.災害発生の主原因
・足場には転落時に掴まる物がなかった。
・クレーン操作者はボタンの位置を確認せず操作を行った。
・介錯者が吊荷に触れていた時に想定外の方向に吊荷が動いた。

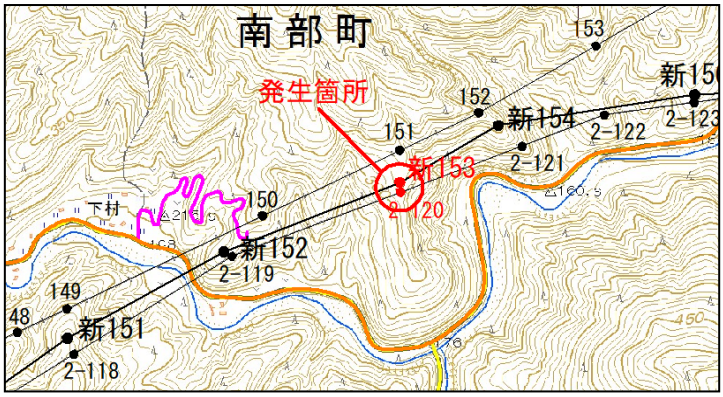
2.再発防止対策
・足場，スロープの端部には作業内容に応じた最適な転落対策を施す。
・クレーン操作者は，リモコンのボタン位置を目視，自己呼称すると共に合図者，介錯者へも
クレーン動作を確認した上で操作を行う。
・介錯者が吊荷に触れている間は，旋回を禁止し微調整は巻上，巻下，起伏操作にて行う。
→ルールの再教育を行うとともに，看板等によりルールの現地明示を行う。

（注）1.　「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に〇印を付ける。
2.　災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

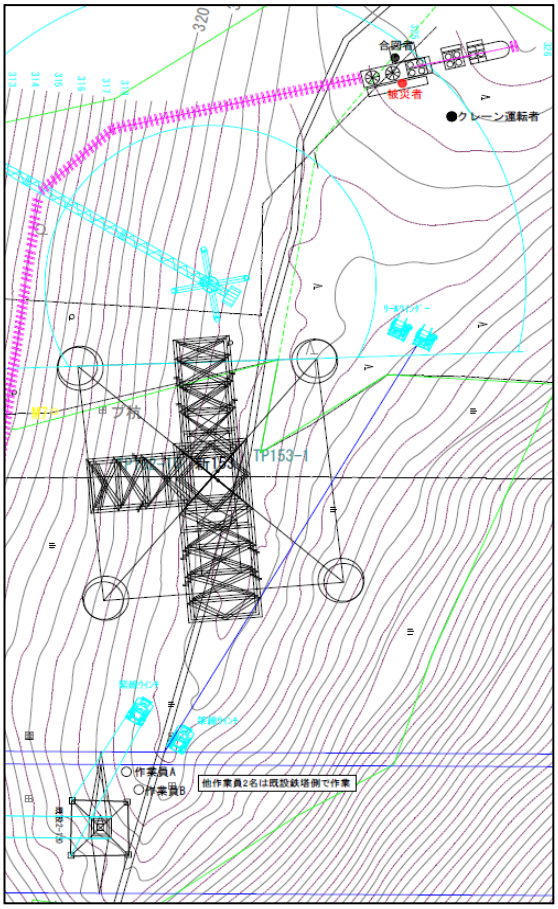
（様式－2）

災　害　概　要　図

(現場位置図)



(現地機器配置図)



(被災時作業状況図)

ジブクレーンリモコン

「伏」と「旋右」を
押し間違えた